

ワークショップ

広島で考える「モニュメント」 －彫刻史研究とアート実践の立場から－

2024年3月13日（水）10:30より

寺田衣里《不在の庭》2019

戦争体験をめぐる記録と記憶の継承を考える当プロジェクトでは、今回、彫刻史や社会史に照らした過去の作例の分析に基づき新たに作品を制作するアーティストの寺田衣里さんをお迎えし、ワークショップを開催します。「軍都」としての広島が戦後「平和都市」として位置付けられてゆく過程において、何がどのような形で残され、作られてきたのか、また、その意味を今日私たちはどのように考え行動するのか、レクチャーと見学を通して考えてゆきたいと思います。広島の記事・慰霊碑について、領域横断的に考え議論する1日となれば幸いです。

午前部

会場：広島大学 東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB

10:30 趣旨説明

10:45 レクチャー

寺田 衣里（アーティスト）

「幻の原爆慰霊碑案研究とアートの実践から考える、モニュメントの在り方とこれから」

イサム・ノグチの実現しなかった原爆慰霊碑案をカウンター・モニュメント（モニュメント性を否定するモニュメント）として考察した研究の内容と、平和記念公園と大東亜共栄圏記念造設計画の類似性や、ノグチの抱えていた苦悩とその社会的背景などの調査を元に制作した私の作品を紹介しながら、社会の中に潜む矛盾や問題について考えます。彫刻教育に対して抱えてきた違和感から、カウンター・モニュメントに興味を持つまでの思考の変遷、また制作や調査研究以外の活動についても紹介し、アートを通して社会について考えることとその実践についてお話しします。

12:15 ディスカッション

コメンテーター：古堅 太郎（広島市立大学／アーティスト）

司会：内山 尚子（広島大学）

午後部：見学 一戦前戦後のモニュメントや遺構に「過去」の位置付けを考えるー

14:30ごろ 広島市南区 宇品・皆実町

（千田廟公園、平和塔、旧広島陸軍被服支廠など）

16:15ごろ 広島市中区 平和記念公園とその周辺

（原爆供養塔、原爆の子の像、広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、平和大橋など）

見学場所は天候や運営の状況により変更となる可能性があります。当企画は事前申し込み制（見学は定員あり）です。

午前部、午後部、18時から開催予定の懇親会のうちいずれか1つ、または2つのみの参加も可能です。

右のURLまたはQRコードより詳細をご確認ください。お問い合わせもこちらからお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/kvTjCpYxGx>

